

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 23 年 2 月 18 日 10 時 45 分～12 時 00 分)

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 55 問で解答時間は正味 1 時間 15 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

各問題には 1 から 4 までの 4 つの選択肢、もしくは 1 から 5 までの 5 つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例 1)、(例 2)では 1 つ、(例 3)では 2 つ選び答案用紙に記入すること。

なお、(例 1)、(例 2)の質問には 2 つ以上解答した場合は誤りとする。(例 3)の質問には 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は誤りとする。

(例 1)

101 保健師助産師看護師法で、保健師を定義しているのはどれか。

1. 第 1 条
2. 第 2 条
3. 第 3 条
4. 第 4 条

正解は「2」であるから答案用紙の ② をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④
		↓		
101	①	●	③	④

答案用紙②の場合、

101	101
①	①
②	●
③	③
④	④

(例 2)

102 保健師国家試験の受験資格が規定されているのはどれか。

1. 医療法
2. 学校教育法
3. 地域保健法
4. 保健師助産師看護師法
5. 看護師等の人材確保の促進に関する法律

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、						答案用紙②の場合、					
102	①	②	③	④	⑤	102	①	②	③	④	⑤
			↓			①	①				
102	①	②	③	●	⑤	②	②				
						③	→	③			
						④		●			
						⑤		⑤			

(例 3)

103 保健師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、						答案用紙②の場合、					
103	①	②	③	④	⑤	103	①	②	③	④	⑤
			↓			①	●				
103	●	②	③	④	●	②	②				
						③	→	③			
						④		④			
						⑤		●			

1 人口3,000人の村で働く保健師が、育児支援に関する地域のヘルスニーズを明らかにするために、地域診断を行うことにした。ここ数年間の出生数は年間5～10人前後である。

収集する情報で優先度が高いのはどれか。

1. 民生委員の活動内容の把握
2. 母子健康手帳取得時の妊娠週数
3. 周産期死亡率の都道府県との比較
4. 前年度の乳幼児健康診査での相談内容

2 平成19年の日本における高齢者(65歳以上)の傾向で正しいのはどれか。

1. 悪性新生物が死因の第1位である。
2. 通院者率は人口千人当たり500以下である。
3. 自殺死亡率は70歳代の方が80歳代よりも高い。
4. 健康上の問題で日常生活に影響のある者の率は人口千人当たり約500である。

3 43歳の女性。特定健康診査で腹囲92cm、中性脂肪160mg/dl、血圧120/80mmHg、空腹時血糖90mg/dlであった。服薬歴と喫煙歴はない。

特定健康診査後の対応で適切なのはどれか。

1. 情報提供
2. 積極的支援
3. 動機付け支援
4. 医療機関受診勧奨

4 母子保健制度について事業と実施主体の組合せで正しいのはどれか。

1. 未熟児の訪問指導 ————— 市町村
2. 妊婦の健康診査 ————— 都道府県保健所
3. 1歳6か月児健康診査 ————— 都道府県保健所
4. 小児慢性特定疾患児の家庭訪問 ————— 都道府県保健所

5 児童虐待予防活動におけるハイリスクアプローチはどれか。

1. 新生児訪問事業
2. 乳児家庭全戸訪問事業
3. 母子健康手帳交付時の面接
4. 乳児健康診査未受診者への家庭訪問

6 保健所管内には精神科の入院施設が2病院ある。これらの病院に長期入院している精神障害者の退院促進・地域移行を推進する事業として、地域自立支援協議会を開催することとなった。

参加を依頼する組織として優先度が高いのはどれか。

1. 警察署
2. 医療保険者
3. 地域活動支援センター
4. 公共職業安定所(ハローワーク)

7 4歳の男児。広汎性発達障害と診断されている。母親から「毎朝自宅のトイレのドアを何度も開け閉めしないと気がすまない」と相談があった。

この症状の説明として考えられるのはどれか。

1. 想像力の障害
2. 注意力の障害
3. 関心・行動の融通性の障害
4. コミュニケーション行動の障害

8 日本の結核の状況と対策について正しいのはどれか。

1. 罹患率は先進諸国の中で低い方である。
2. 新規登録患者数は平成11年以降増加している。
3. BCGの定期接種前のツベルクリン反応検査は廃止された。
4. 接触者健康診断は接触者の居住地の市町村保健センターで行われる。

9 市の保健師は特定保健指導「積極的支援」の修了者を対象に、修了3か月後のフォローアップ教室を平成23年度新規事業として予算要求することとした。フォローアップ教室の目的は改善した生活習慣の維持である。平成20年度の特定保健指導「積極的支援」利用者について市に保存されているデータを表に示す。

データ	内 容
A	平成20年度の特定健康診査時の生活習慣
B	平成20年度の特定保健指導「積極的支援」開始時の生活習慣
C	平成20年度の特定保健指導「積極的支援」修了時の生活習慣
D	平成21年度の特定健康診査時の生活習慣

事業の必要性を示すための資料で最も適切なのはどれか。

1. AとDを比較した資料
2. BとCを比較した資料
3. BとDを比較した資料
4. CとDを比較した資料

10 市のがん検診受診者へのアンケートでは喫煙者の60%が禁煙に関心を示していた。そこで、1か所の民間の保健指導機関に委託して、禁煙を目的にした4種類の健康教育を6か月間ずつ実施した。それぞれの参加者数、禁煙達成者数および費用を表に示す。ただし、禁煙の達成状況は、最終回での自己申告と呼気一酸化炭素濃度とで確認した。

方 法	参加者数	禁煙達成者数	費用
A 個別指導中心の禁煙教育	40人	25人	200万円
B グループワークを中心にした禁煙教育	50人	25人	100万円
C 電子メールとパンフレットによる禁煙教育	100人	20人	50万円
D 講義中心の禁煙教育	150人	2人	10万円

*「費用」は、民間の保健指導機関に支払った金額

費用対効果の高いのはどれか。

1. A
2. B
3. C
4. D

11 保健師のアセスメント能力の向上を目指した職場内教育方法で最も適切なのはどれか。

1. 事例検討
2. ディベート
3. 専門家の講義
4. ロールプレイ

12 生活習慣病予防教室終了後に自主グループ化を目指した教室を開催することにした。

グループダイナミクスを活用した教室運営で適切なのはどれか。

1. 各参加者が体験を共有するよう促す。
2. 各参加者が互いに競い合うよう促す。
3. 発言の多い参加者をリーダーに指名する。
4. 最も積極的な参加者の目標をグループの目標とする。

13 保健所管内では、医療依存度の高い在宅神経難病患者が増加している。保健師は管内市町村担当課、介護支援専門員、訪問看護師および医師会に呼びかけ、在宅神経難病患者支援体制の整備に向けたケアシステム会議を立ち上げた。

ケアシステム会議の役割で適切なのはどれか。

1. 難病相談・支援センターを整備する。
2. 人工呼吸器を在宅療養者へ貸し出す。
3. 若年の在宅神経難病患者の介護認定を行う。
4. 訪問看護ステーションの神経難病患者の受け入れ状況を調査する。

14 学校環境衛生について正しいのはどれか。

1. 学校保健委員会は環境衛生の管理に責任を持つ。
2. 机と椅子の高さの基準は学年ごとに定められている。
3. 臨時の環境衛生検査は学校薬剤師が業務として行う。
4. 環境衛生検査は学校教育法によって義務づけられている。

15 電離放射線を発生する機器を扱っている職場での安全衛生管理で適切なのはどれか。

1. 年に1回の健康診断を実施する。
2. 妊娠中の女性を作業に従事させてはならない。
3. 作業者は放射性物質取扱作業室で水分摂取してもよい。
4. 被ばく線量測定は毎日の線量を測るものと累積を測るものとを併用するとよい。

16 69歳の女性。72歳の夫との2人暮らし。脳卒中を発症し、要介護2と認定され、介護保険サービスを利用することになった。

介護支援専門員が在宅ケアプランを作成する上で適切なのはどれか。

1. 作成には本人と夫が参加する。
2. インフォーマルなサービスは含めない。
3. 介護支援専門員が支援内容を決定する。
4. 初回に決めたケアプランは6か月間に変更しない。

17 震災の3か月後、避難所にいた被災者が仮設住宅へ入居した。保健師が仮設住宅への巡回訪問を行ったところ、高齢者の多くは自立した生活ができているものの、慣れない生活環境への不安を訴え、仮設住宅内に閉じこもりがちであった。今後も保健師による巡回訪問は実施する予定である。

この時点の保健活動で優先度が高いのはどれか。

1. 介護相談の実施
2. 消毒薬による手洗い方法の指導
3. 内科医師による巡回診療の実施
4. 仮設住宅地区での被災者の交流会の定例開催

18 労働基準監督署で正しいのはどれか。

1. 国の機関である。
2. 都道府県の機関である。
3. 市町村が設置主体である。
4. 独立行政法人が設置主体である。

19 自殺対策基本法の説明で適切なのはどれか。

1. 青少年期の自殺対策が中心である。
2. 遺族に対する支援の充実が目的に含まれる。
3. 心の電話相談窓口の設置を市町村に義務づけている。
4. 保健所を自殺予防総合対策センターに位置付けている。

20 市では、次世代育成支援行動計画(前期計画)を策定して5年目となるため、次世代育成支援対策地域協議会を組織して、次の5年間の後期計画を策定することとした。

計画策定において適切なのはどれか。

1. 母子保健計画と内容が重複しないようにする。
2. 地域協議会の委員は関係機関の長で構成する。
3. 前期計画の実施結果に対する住民の意見を参考にする。
4. 後期計画の最終案を作成してから、協議会の構成員に意見を求める。

21 次の計算式で求められるのはどれか。

〈ある期間のある疾病の新規発症者数〉÷〈同一期間の対象集団の観察人年〉

1. 罹患率
2. 有病率
3. 受療率
4. 累積罹患率

22 介入研究として正しいのはどれか。

1. 発生頻度の低い疾患に適用可能である。
2. 仮説設定のために用いられることが多い。
3. 介入と結果との時間的關係が明確である。
4. 複数の曝露要因の影響を検討することはできない。

23 保育所に通所している5歳の児が大腸菌O157感染症と診断され、本日入院した。主治医から保健所へ届出があった。同時に保育所からも、どう対応するべきかと相談があった。児には両親と3歳の弟がいる。弟も同じ保育所に通っている。家では毎日一緒に兄弟で入浴していた。両親と弟に症状はない。

この保健所の保健師の対応で適切なのはどれか。

1. 両親と弟に検便を指示する。
2. 保育所に休所するよう指示する。
3. 入院中の児の前日の食事内容を調査する。
4. 保育所に、保護者会で患児の病状説明をするよう指示する。

24 がんと危険因子の組合せで正しいのはどれか。

1. 喉頭癌 ————— 喫 煙
2. 甲状腺癌 ————— 紫外線
3. 肺 癌 ————— 過度の飲酒
4. 大腸癌 ————— ヘリコバクターピロリ

25 健康診査受診者を対象に、肥満の予防方法の理解度について5項目のテストを実施した。テストの合計得点を求めた後に理解できている群とできていない群に分類した。

健康教室参加の有無との関係を調べるのに使用するのはどれか。

1. 相関図
2. 回帰直線
3. クロス表
4. 平均値の棒グラフ

26 日本において50年前と比較して増加しているのはどれか。

1. 結核死亡率
2. 脳血管疾患死亡率
3. 心疾患年齢調整死亡率
4. 大腸悪性新生物年齢調整死亡率
5. 子宮悪性新生物年齢調整死亡率

27 市の健康増進計画の重点的な健康課題を検討する資料で優先度が高いのはどれか。

1. 高血圧教室の参加者数
2. 市における死因別死亡率
3. 共済組合の診療報酬明細書のデータ
4. 市役所来所者から聞き取った健康上の不安
5. 保健所保健師が日頃の活動で認識している課題

28 65歳の男性。禁煙教室の修了者。禁煙教室修了後2か月間は禁煙ができていた。しかし、自治会の会合でうっかりたばこを吸ってしまい、それから時々喫煙するようになった。「このままでは、ずるずるとたばこを吸ってしまうと不安になった。どうしたら良いだろう」と保健師に電話してきた。保健師は対象者が自己の保健行動を再評価することが必要だと考えた。

保健師の助言で適切なのはどれか。

1. 「2か月間禁煙できていた経過を一緒に振り返ってみましょう」
2. 「10年前から禁煙を継続している人を紹介しましょう」
3. 「私が再度禁煙計画を作りましょう」
4. 「たばこの害を復習してみましょう」
5. 「ガムをかんで我慢しましょう」

29 介護保険制度における地域密着型サービスに含まれるのはどれか。

1. 総合相談支援
2. 地域生活支援
3. 居宅介護住宅改修
4. コミュニケーション支援
5. 認知症対応型共同生活介護

30 人口 10 万人当たりの年間の肺がん死亡率が、喫煙者では 100、非喫煙者では 20、集団全体では 50 であった。

人口寄与危険割合はどれか。

1. 30 %
2. 40 %
3. 50 %
4. 60 %
5. 80 %

31 特定健康診査時と 1 年後の特定健康診査時の体重変化量について、その間に行われた特定保健指導実施群と非実施群との間で平均値の差を検定したい。

用いる検定はどれか。

1. F 検定
2. t 検定
3. χ^2 検定
4. フィッシャー検定
5. ウィルコクソン検定

32 アルマ・アタ宣言で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 地域活動の強化
2. 健康的な公共政策づくり
3. 健康は基本的人権であること
4. 健康は生きる目的ではなく生活の資源であること
5. スローガンは「すべての人びとに健康を」であること

33 人口 50 万人の市。自立している独居高齢者の実態調査(無記名)を行った結果、プライバシーには深入りされたくないが、孤独死に対する不安を抱えている高齢者の実態が明らかになった。

孤独死を予防するための保健師の活動として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 民生委員の会議に調査結果を提示して話し合う。
2. 独居高齢者の名簿を作成し関係機関に配布する。
3. 独居高齢者を支援するネットワークづくりを行う。
4. 孤独死の不安をもつ高齢者に対して介護保険の申請を勧める。
5. 居宅介護支援事業所の介護支援専門員に高齢者の見守りを依頼する。

34 地域・職域連携推進事業で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ハイリスクアプローチの展開に重点を置く。
2. 医療機関の代表として健康保険組合が参加する。
3. 地域と職域に共通する課題の明確化が事業の推進に役立つ。
4. 対象は二次医療圏地域・職域連携協議会に参加している企業である。
5. 二次医療圏地域・職域連携協議会には労働基準監督署の参加を要請する。

35 58歳の女性。65歳の夫との2人暮らし。現在、脊髄小脳変性症で入院中である。移動時は車椅子を使用し、夜間のみ人工呼吸器を装着している。夫から「本人は退院を希望しているが、進行していく病気なので自分が介護をしていけるか不安で、在宅療養に踏み切れない」と保健所保健師に相談があった。

夫が在宅療養について検討するための支援で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 介護老人福祉施設のリストを渡す。
2. 人工呼吸器の取り扱い業者を紹介する。
3. 障害者自立支援法による療養介護の情報を伝える。
4. 今後利用できる介護保険の居宅サービスについて説明する。
5. 了解の得られた脊髄小脳変性症在宅療養者の家族を紹介する。

36 感染症対策に関する現行法はどれか。2つ選べ。

1. 結核予防法
2. 予防接種法
3. 伝染病予防法
4. 後天性免疫不全症候群の予防に関する法律
5. 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

37 小学2年生の男子が、水泳の授業後に咽頭痛と倦怠感を訴えて保健室に来室した。保健室で1時間休養させたが、発熱もみられたため保護者に連絡をして早退させた。翌日、保護者から咽頭結膜熱と診断されたので学校を休むという連絡が入った。

養護教諭が行う対応として適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 学級閉鎖をする。
2. プールを使用禁止にする。
3. 同じ学級の児童の検温と健康観察とを行う。
4. 全校児童に手洗いとうがいの励行を指導する。
5. 教室の扉の取っ手を家庭用洗剤を含ませた布で拭く。

38 現在の日本の社会保障の考え方はどれか。2つ選べ。

1. 社会保障の需要が高まるように努力する。
2. 「共助」のシステムとして介護扶助を強化する。
3. 給付と負担の両面で、より公平な制度としていく。
4. 「公助」には国民皆保険と皆年金制度を位置づける。
5. 「自助」を基本、「共助」が補完、対応できない場合に「公助」とする。

39 スクリーニング検査で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 疾病の一次予防として行われる。
2. 多疾患を対象とするものをマススクリーニングという。
3. 偽陰性が多くても、偽陽性が少ない検査が適している。
4. 早期発見した場合、治療法が存在する疾患を対象とする。
5. スクリーニング陽性者に対して診断確定する方法がある疾患を対象とする。

40 感染症発生動向調査で正しいのはどれか。2つ選べ。

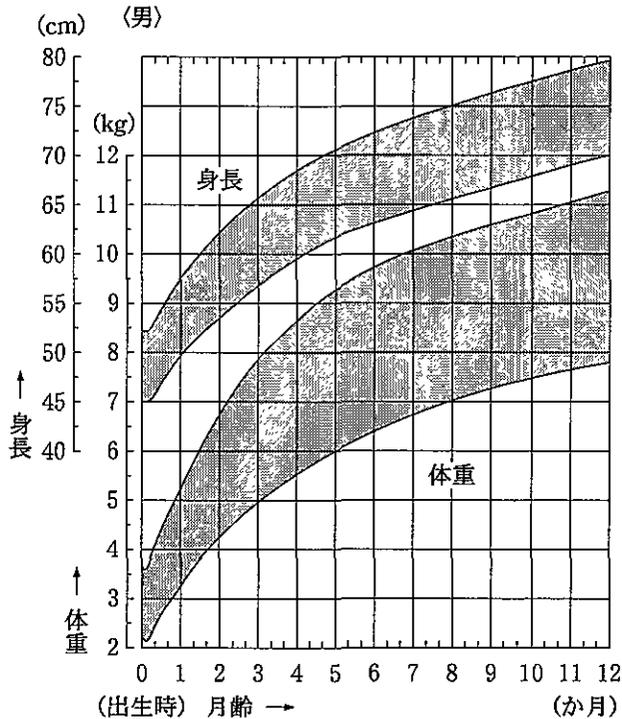
1. 根拠法令は地域保健法である。
2. 集計結果は市町村ごとに発表される。
3. 性器クラミジア感染症は全数把握の対象である。
4. 医療機関から保健所に患者情報の提供が行われる。
5. 鳥インフルエンザ(H5N1)は全数把握の対象である。

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

31歳の母親。夫と男児との3人暮らし。児は身長48 cm、体重3,000 gで出生した。乳児家庭全戸訪問事業による2か月時の訪問では、身長58 cm、体重5,500 gであった。母親は4か月児健康診査のため市保健センターに来所した。児は4か月と20日。身長63 cm、体重7,000 g。ポリオの予防接種が済んでいる。

市では、乳幼児健康診査の他、育児相談(月1回、保健センター)、離乳食教室、子ども発達相談(月1回、就学前の児を対象とし、健康診査も兼ねている)も実施しており、赤ちゃんふれあいルーム(乳児を対象とした体重測定と母親同士の交流の場)がある。ポリオ以外の予防接種は個別接種である。乳児身体発育曲線(男児)を図に示す。

乳児身体発育曲線(平成12年調査)



41 4か月児健康診査の問診時、母親から「予防接種は次に何を受ければよいか」と相談があった。

予防接種で最も優先度が高いのはどれか。

1. BCG
2. 日本脳炎
3. 麻疹・風疹
4. DPT 混合ワクチン(ジフテリア・百日咳・破傷風)

42 母親は児とともに7か月児健康診査に来所した。児は7か月と5日。身長67 cm、体重7,300 g。定頸+、寝返り+、手をついたお座り+。母親は「5か月から離乳食を開始した。同じアパートの住人と時々子育ての話をする」と言う。

保健師のアセスメントに必要な情報で優先度が高いのはどれか。

1. 予防接種の状況
2. 事故予防の理解
3. 離乳食の進行状況
4. 母親への育児サポート状況

43 母親は児とともに10か月児健康診査に来所した。児は10か月と1日。身長68 cm、体重7,600 g。手をついたお座り+、はいはい(-)、つかまり立ち(-)。母親は「うちの子は他の子と比べておとなしいみたい。あまり動かないし…」とやや不安そうである。保健師は母親が気にしていることや気持ちを受けとめ、他の母子保健事業の利用を促して健康診査後もフォローしていくこととした。

利用を促す母子保健事業で最も適切なのはどれか。

1. 育児相談
2. 離乳食教室
3. 子ども発達相談
4. 赤ちゃんふれあいルーム

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

人口 5 万 3 千人の市。A 地区は自営業者が多く、B～D 地区は近隣の市町村に通動している者が多い。市では、特定保健指導の「動機付け支援」利用者を対象に、運動推進員の協力を得て、月 2 回、3 か月間の『いきいき運動教室』を実施している。目的は、行動変容ステージが関心期・準備期にある者の行動変容である。「動機付け支援」利用者全員が運動への関心を示したため、全員に案内を郵送し、募集した。教室への参加状況を表に示す。

地 区	A	B	C	D
人 口	35,000	10,000	5,000	3,000
「動機付け支援」対象者数	350	120	60	40
「動機付け支援」利用者数	70	48	24	16
うち、運動習慣なし	50	20	15	8
教室参加者数	35	36	18	12
うち、参加時運動習慣なし	20	10	9	4
運動推進員数	3	5	2	1

44 教室の目的に沿った対象者の参加率が高い地区はどれか。

1. A 地区
2. B 地区
3. C 地区
4. D 地区

45 市の保健師はこの教室への参加者をさらに増やすために、特定保健指導の周知方法を見直したいと考えた。

A 地区の場合、協力を得る対象で最も有効と考えられるのはどれか。

1. 自治会
2. 教室修了者
3. 運動推進員
4. 市内の医療機関

46 B地区の教室修了者の1人から市の保健師に「1人では続けていくのが難しいので、今後も皆で運動を続けたい」との申し出があった。

市の保健師の対応で優先度が高いのはどれか。

1. 教室参加時運動習慣ありの者を対象とした自主グループづくりを勧める。
2. 教室を修了した他の者にグループによる運動継続の意向を確認する。
3. 地区の運動推進員に自主グループづくりの意向を確認する。
4. 地区の運動推進員にグループの立ち上げを依頼する。

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

A さん、30 歳の男性。統合失調症で両親との 3 人暮らし。市保健センターで行われている精神障害者社会復帰事業(デイケア)に参加している。A さんから「70 歳の父が筋萎縮性側索硬化症(ALS)になり、大学病院に入院した。母も高齢なので自分が 1 人で介護をしなければいけない」と市の保健師に相談があった。

47 市の保健師の A さんへの対応で優先度が高いのはどれか。

1. 保健所保健師への相談を勧める。
2. 父親の介護は母親に任せるよう話す。
3. 介護保険制度の手続き方法を説明する。
4. 父親の療養について母親を交えて話し合うことを提案する。
5. 父親を介護することについて、A さんの主治医に許可を得るよう助言する。

48 市の保健師は、保健所保健師と協力してこの家族を支援することとした。1 か月後、A さんの父親は退院し在宅療養に移行することになった。保健所保健師が、A さんとその両親の承諾を得て、A さんの父親の主治医に病状確認をすると、「現在は下肢の症状が中心で、球麻痺症状はみられないが、今後病状の進行に応じて対応が必要となる」とのことだった。

この時点で考えられる A さんの父親の在宅療養のための保健所保健師の支援として最も適切なのはどれか。

1. 療養通所介護
2. かかりつけ医の確保
3. 訪問入浴介護の利用
4. 介護保険による訪問看護の導入

49 Aさんの父親の在宅療養が開始された。ある日、Aさんの父親を担当している訪問介護員から「Aさんは精神障害者だと聞いたが、どのように接していいのかわからない」と保健所保健師に相談が入った。

保健所保健師のその後の対応として適切なのはどれか。

1. 訪問介護員の交代を提案する。
2. Aさんの病状について市の保健師に確認するよう勧める。
3. 訪問介護員の不安や対応方法をテーマに事例検討会を行う。
4. 父のサービス利用時間中はAさんに外出するよう勧めると約束する。

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

ある保健所において、管轄区域の市町村保健センターの乳幼児健康診査に来る母親を対象として質問紙調査(無記名、自記式)を実施することになった。この調査の目的は、母親のメンタルヘルスとその関連要因を明らかにし、必要な事業を検討することである。

50 保健所が調査事業を行うことについて規定している法律はどれか。

1. 健康増進法
2. 地域保健法
3. 母子保健法
4. 次世代育成支援対策推進法
5. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律

51 来所した母親に、調査への依頼および説明が書いてある手紙と調査用紙を渡し、口頭でも依頼と説明を行った。記入後、回収箱に入れてもらうこととした。

この調査の実施にあたり、倫理的に問題がないのはどれか。

1. 児の生年月日を調査項目に加える。
2. 協力できないといわれた場合は理由を確認する。
3. 同意の確認は記入した回答の提出をもって行う。
4. 記入漏れの点検に備えて裏面に受付け番号を記入しておく。

52 調査の結果を保健所保健師と市の保健師で検討したところ、子育て中の母親のメンタルヘルス指標と夫からの支援の指標との間に強い関連が認められた。

この結果を受けて、今後、市で行うべき取り組みとして優先度が高いのはどれか。

1. 父親を対象としたメンタルヘルス調査を実施する。
2. 児童虐待についての啓発資料を自治会に配布する。
3. 男性労働者を対象としたメンタルヘルス研修会を行う。
4. 両親学級で育児経験のある父親から体験談を話してもらう。

次の文を読み 53～55 の問いに答えよ。

新たにがんのスクリーニング法が開発され、市では住民検診で利用できるか検討することになった。市内の A 病院でがん患者 100 人と健康な人 100 人を対象に調査を行い、検査陽性とがん罹患との関連が明らかになった。市と地域の医療機関は協力体制がとれており、これまでのがん検診では一次検診と精密検査の実施体制が確立されている。

53 スクリーニング検査法評価の指標の中で、A 病院で行った調査の結果と比べて、住民 200 人を対象に調べた場合に結果が低くなる可能性があるのはどれか。

1. 敏感度
2. 特異度
3. 陽性反応的中度
4. 陰性反応的中度

54 新しいスクリーニング法を住民に試行して、評価をすることにした。検査陽性者は、スクリーニング検査 1 年後まで追跡をして全員のがんの罹患状況を確認することにし、検査陰性者のがんの罹患状況は、地域がん登録を照会して確認することにした。検査陽性者と陰性者との全員を 1 年間追跡したときの結果を真の値とする。

真の値と試行の結果をそれぞれに比べて、その差が最も大きくなる可能性があるのはどれか。

1. 敏感度
2. 特異度
3. 陽性反応的中度
4. 陰性反応的中度

55 住民を対象にした試行の結果、スクリーニング検査法の精度がよいことが確認できた。このスクリーニング検査法を用いて住民検診を実施することにした。

一次検診と精密検査を委託する市内の医療機関に協力を依頼する内容で優先度が高いのはどれか。

1. 要精検者に受診を勧める。
2. 検査陰性者をフォローする。
3. 一次検診の広報活動を企画する。
4. 各医療機関の要精検率を一定にする。